

【ご参考資料】

2014年10月27日

## 10月26日のブラジル大統領選挙について

### 決選投票で現職のルセフ氏が再選

2014年10月26日(現地時間)、ブラジル大統領選挙の決選投票が実施され、現職で労働党のルセフ氏が再選を果たしました。同氏の得票率は約52%と、野党対立候補のネベス氏に僅差で勝利しました。今回の選挙では、ルセフ氏が貧困対策の実績を強調し、低所得者層の支持を固めて、僅差で競り勝ちました。

### 選挙結果への思惑に左右される状況が続いたブラジル金融市場

同国経済は、足元の実質GDP(国内総生産)成長率が2四半期連続で前期比マイナスとなったほか、インフレ率がブラジル中央銀行の目標上限近辺で推移するなど、低調な状態が続いています。さらに、財政の改善も遅れていることなどを受け、ルセフ政権への不満は高まっていました。

このような状況のもと、金融市場では、世論調査結果で政権交代の可能性の高まりが示されると、株式、ブラジルレアルが上昇し、政権交代の可能性が低下すると、株式、ブラジルレアルが下落するなど、選挙結果への思惑に左右される状況が続いていました。

10月5日(現地時間)に実施された第一回投票では、ルセフ氏が得票率約42%で首位となったものの、当選に必要な過半数には届かず、2位で社会民主党のネベス氏とともに決選投票に進むことになりました。

決選投票までの間、第一回投票で3位となった野党社会党のシルバ氏がネベス氏の支持を表明したほか、世論調査結果で両者の支持率が拮抗するなど、接戦が続いていました。

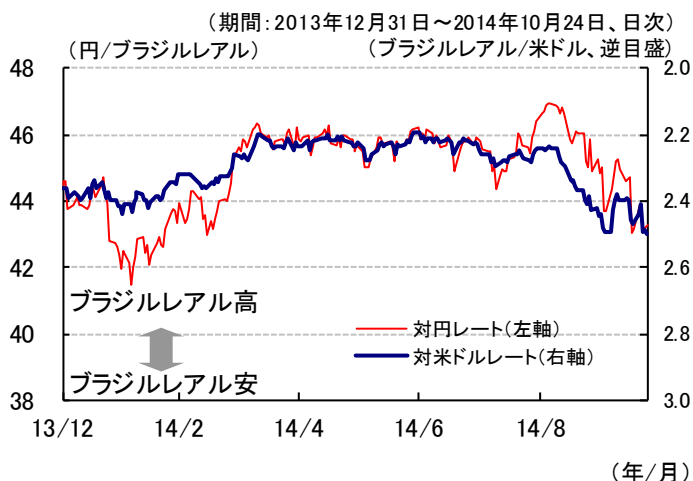
足元の金融市場では、決選投票直前の世論調査結果でルセフ氏優勢が示され、政権交代への期待が後退したことなどから、株式、ブラジルレアルともに下落していました。

以上

【図1】ブラジル株式市場(ボベスパ指数)の推移



【図2】ブラジルレアルの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成